

もんじゅ廃炉求め 県庁周辺デモ行進

反原発の40人

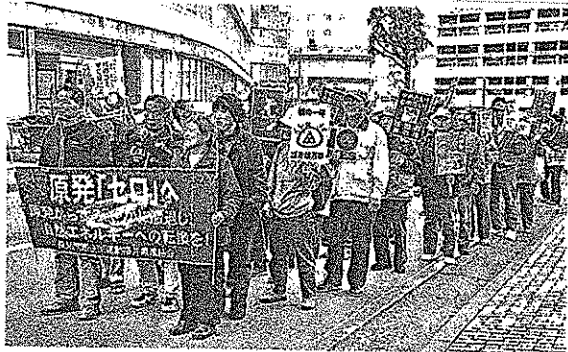
反原発を訴える住民ら四十人ほどが十一日、県庁周辺をデモ行進した。原子力規制委員会が四日、敦賀市の高速増殖原型炉「もんじゅ」

の運営者を代えるよう文部科学省に勧告する方針を決めたことを受け、参加者からはもんじゅの廃炉を求める声が上がった。

デモ隊の先導車が「もんじゅ」は建設に一兆円、一日に五千五百万円もの維持費がかかりながら、何の成果も出ていない。国はいつまでもどれだけの税金をつぎ込むのか」とアナウンス。デモ隊は「若狭に新しい雇用

を増やそう」とコールし「やめたい とめたい 核燃料再処理」と書かれたプラカードを掲げた。

福井市文京五丁目の西村明宏さん（モ）は「核燃料サイクル自体が破綻しているので、もんじゅは新しい運営者を探すのでなく、廃炉



原発ともんじゅの廃炉を求め、デモ行進する市民ら―福井市役所前で

にするしかないと思つ」と話した。
(上原梨花)

11/12
福井